



# 令和元年度・訪問学級だより



令和元年（2019年）7月12日

東京都立町田の丘学園校長

茂木 裕之

## 町田の丘学園の訪問教育について

\* 訪問教育とは、憲法に保障されている義務教育及び高等学校教育を誰もが受けることができるようにという考えの下に、健康状態や家庭の事情、入院等により、毎日通学することが困難である児童・生徒に対して、家庭や施設・病院などに教員が訪問して教育を行う制度です。



\* 本校では、肢体不自由教育部門の小学部・中学部・高等部にそれぞれに、主に自宅や施設等で学習する「**在宅訪問**」があります。各学部の教育課程に準じ、児童・生徒の実態に応じた指導を行っています。

\* 授業は、担任との1対1の授業が基本ですが、集団での関わりを大切にする・障害の特性や発達段階等に応じた学習を行うなどの観点から、複数の教員が訪問することもあります。普段の授業のほかには、始業式、終業式なども行います。また、登校（スクーリング）できる条件が整えば学校に登校して学習に参加し、通学している友達と交流したり、運動会、まちだ祭、校外学習、宿泊行事、学習発表会等の行事に参加したりして、社会性を育てる機会も設けています。

ショートステイなどした場合は、学習の保障のために入所先と相談しながら訪問授業を行うこともあります。



\* 今年度は、各学部共に1名ずつ訪問生が在籍しています。

## 授業の様子を紹介します。

<小学部>初めての授業は御自宅での入学式。聞きなれない声があると、目をキョロっと声のする方向に動かしてよく聞いていました。学校とのつながりをもてるように、学年担任からのメッセージをタブレット端末で流しました。初めて耳にする声に興味津々でした。通学生の学年やグループとのつながりをもてるように歌や活動内容を共通な部分を取り入れています。個別のスイッチを使った学習等も本人ペースでじっくり取り組んでいます。



<中学部>日帰りの修学旅行に行きました。普段の授業は、自宅で先生とマンツーマンなので、「家から出て活動をする事」、「学部の友達と一緒に活動を楽しむこと」の二つを目標に参加しました。ディズニーランドでは、待ち合わせた学部の友達と一緒にショーを楽しんだり記念写真を撮ったりすることができました。初めて会う先生からも声を掛けられちょっとドキドキでしたが、笑顔で楽しく過ごすことができました。



<高等部>昨年度に引き続き、タブレット端末の動画通話機能（FaceTime）を利用して、授業視聴を積極的に行ったり給食時に会話を楽しんだりして、同級生や所属の学習グループとの交流を楽しんでいます。今年度は、卒業後の余暇活動や進路の幅を広げる取組として、学校や地域自治体に提供するポスター作りに挑戦しています。また、まちだ祭での出店に向けて、オリジナルのイラストや写真を使った商品づくりにも取り組んでいます。

